

第42回全日本バトントワリング選手権東北支部大会

【基本実施要項】



2016年7月9日(土)～10(日)

秋田県立武道館

主催 日本バトン協会東北支部

東北マーチングバンド・バトントワリング連盟

協力 秋田県バトン協会

目 次

◇	大会概要	1
◇	大会日程	2
◇	申込み	3
◇	参加者へのお願い	5
◇	進行・閉会式等・その他	6
◇	共通規定	7
◇	審査、審査等に関する規定	8
	◎コンテストの部	8
	〔選手権の部〕	
	◆ソロトワール	9
	◆トゥーバトン	9
	◆スリーバトン	9
	◆ペア	9
	◆ソロストラット	9
	◆ダンストワール	9
◇	表彰に関する規定	10
◇	コスチュームに関する規定	10
◇	バトン、その他に関する規定	10
◇	警告及び出場停止	10
◇	種目別規定	11
	◆ソロトワール	11
	◆トゥーバトン	12
	◆スリーバトン	13
	◆ペア	15
	◆ソロストラット	16
	◆ダンストワール	18
◇	災害発生等における開催中止、 延期について	19
◇	緊急時対策マニュアル	20
◇	館内図	別冊 P 1
◇	演技前後の動線 コンテスト	別冊 P 2
◇	演技前後の動線 選手権	別冊 P 3
◇	秋田県立武道館避難経路図	別冊 P 4
◇	駐車場及び入館口のご案内	別冊 P 5
◇	アクセスマップ	別冊 P 6

大会概要

【大会名】 第42回全日本バトントワーリング選手権東北支部大会

【開催日時】 2016年 7月 9日(土) 13時00分～(予定)
7月10日(日) 9時00分～(予定)

【開催会場】 秋田県立武道館
秋田市新屋町字砂奴寄 2-2

【主催】 日本バトン協会東北支部
東北マーチングバンド・バトントワーリング連盟

【協力】 秋田県バトン協会

【後援】 秋田県教育委員会 秋田市教育委員会 青森県教育委員会 岩手県教育委員会
宮城県教育委員会 山形県教育委員会
青森県高等学校文化連盟 岩手県高等学校文化連盟 宮城県高等学校文化連盟
秋田県高等学校文化連盟 山形県高等学校文化連盟
秋田魁新報社 ABS秋田放送 AKT秋田テレビ AAB秋田朝日放送
エフエム秋田
一般社団法人日本バトン協会
秋田県マーチングバンド・バトントワーリング協会

(予定)

【主旨】

本大会は、日本バトン協会東北支部の目的である「バトントワーリングの普及・振興に関する事業を行い、もって東北のスポーツ芸術・文化の発展に寄与することを目的とする」という精神のもとに東北各地からバトントワラーが一堂に集い、技術を競うと共に、親睦を図り、東北のスポーツ・文化の発展に寄与するものである。

また、第42回全日本バトントワーリング選手権大会の予選を兼ねる。

【アクセス】

■秋田駅より約5.8km

■秋田空港より約22.4km

■バスでお越しの場合

秋田駅西口バスターミナル3番線

『県立総合プール』行き 乗車

『県立武道館前』停留所 下車/

所要時間25分 料金(大人)350円

★バス時刻表→秋田中央交通 HP

■タクシーでお越しの場合

◎秋田駅前⇒県立武道館

所要時間20分/料金2,300円位

◎秋田空港⇒県立武道館

所要時間50分/料金6,500～7,000円

秋田駅西口バスターミナル



大会日程（予定）

2016年7月 9日（土）

◆選手権の部 準々決勝・準決勝

13時00分～（予定）

※ 開始時間は、エントリー締め切り後に決定する。

2016年7月10日（日）

◆選手権の部決勝

◆コンテストの部

9時00分～（予定）

※ 開始時間は、エントリー締め切り後に決定する。

申し込み

1 参加申し込みについて

- (1) 加盟団体ごとに申し込むこと。
- (2) 経費等は指定口座に振込むこと。振り込み手数料は各団体で負担すること。納入され諸経費はいかなる理由があっても返金しない。
- (3) 宿泊・弁当の申し込みは、6月20日頃ホームページに掲載します。

2 参加費について

(1) コンテストの部

全国共通規定演技(バトン) 1名1種目 4,000円

(2) 選手権の部 (全日本バトントワリング選手権大会への選考会を兼ねる)

○ ソロトワール	1名1種目	6,000円
○ ソロストラット	1名1種目	6,000円
○ トゥーバトン	1名1種目	6,000円
○ スリーバトン	1名1種目	6,000円
○ ダンストワール	1名1種目	6,000円
○ ペア	2名1組	9,000円

3 プログラム販売について (参加選手分(実数)のプログラムを贈呈する)

- 前売り(予約販売) 500円
- 当日売り 700円

4 入場券について

- 前売り券は、ローソン・ファミリーマート・セブンイレブンで6月21日頃から販売する予定です。発売日が決まり次第ストアコードとともにホームページに掲載します。
 - 一般一日券 前売り2,200円 当日2,500円
 - 小・中・高校生一日券 前売り1,200円 当日1,500円
- *未就学児で座席を占有する場合は、小・中・高校生券を購入すること。
*参加選手は二日間とも無料で観覧できる(選手席のみで可)
(係員が識別バッチを判読しやすいように左腕に付けること)

5 引率者について

- (1) 引率者は「登録引率者」とし有料とする。
※大人2,200円、中・高校生1,200円(二日間共通)
- (2) 引率者の登録は、選手16名以下は2名まで、選手17名以上は3名までとする。
- (3) 登録引率者用ビブスを着用し選手席及び観客席にて観覧ができる。

6 通信諸経費・その他諸経費について

参加団体1団体につき 1,000円

7 課題曲CD・規定演技セットなどの購入について

- (1) 課題曲CD(1枚2,000円)
- (2) 全国共通規定演技セット(DVD・CD・コンテ)(1セット 6,000円)
【申込み;日本バトン協会事務局へ直接申し込むこと】

- 8 ゴミ処理について
ゴミは、各団体で処理すること。
- 9 館内での全ての撮影を禁止します。(カメラ・携帯カメラ・ビデオカメラ等の全ての撮影)
- 10 記念写真撮影について
大会指定業者による記念写真の撮影を希望する場合は、各自で申し込みを行うこと。
(当日、業者が会場で受け付ける)
- 11 全国大会推薦者のプログラム掲載用の写真撮影については、6月21日頃ホームページに掲載します。
- 12 演技中の撮影について
指定業者が写真及びビデオで撮影します。撮影された写真及びビデオは二次使用(放送等される場合があります。許諾は団体毎とし撮影を許諾出来ない場合申込書にご記入下さい
著作権は東北マーチングバンド・バトントワーリング連盟に帰属します。

13 申し込み
【参加申込み】

受付開始 2016年 5月27日(金)
受付終了 2016年 6月 6日(月)

【申し込み方法】 大会事務局に申込書類を印刷して郵送すること。あわせて同データをCD等記憶媒体に保存の上同封すること。諸経費は指定口座に振り込むこと。

【指定口座】：ゆうちょ銀行

◆ゆうちょ銀行からのお振り込み

記 号 18430

番 号 24116611

口座名 ゼンニホンバトントワーリングセンシュケントウホクシブタイカイ

◆ゆうちょ銀行以外からのお振り込み

店 名 八四八(読み ハチヨンハチ)

店 番 848

預金科目 普通預金

口座番号 2411661

口座名 ゼンニホンバトントワーリングセンシュケントウホクシブタイカイ

*振り込み者名がわかりやすいように、団体名のみを記載すること。

【申込書送付先】 〒014-0027 秋田県大仙市大曲通町13-7三浦ビル
日本バトン協会東北支部事務局 宛
TEL 0187-86-0560

- 14 問い合わせ (Mailのみ)
事務局長 奥山達也
Mail ajmbta@obako.or.jp

参加者へのお願い

1 団体受付（選手受付）

- （１）登録引率者は、指定の時間に団体受付及びバトンチェックを受けること。
- （２）団体受付時に、選手用識別バッチ、登録引率者用ビブス及びプログラム（予約分）を配布します。受領後、数を確認して下さい。
- （３）棄権者がいる場合は、棄権届用紙を団体受付に提出すること。審査部用、演出部用、本部用の記入が必要です。同様に記入すること。
- （４）受付後棄権する場合は大会本部に申し出て所定の手続きを行うこと。

2 選手及び引率者の入館

- （１）選手は、団体受付時に配布（実数）される識別バッチを左腕につけること（演技時を除く）
- （２）登録引率者は、団体受付時に配布されるビブスを着用すること。

3 ウォーミングアップ等

- （１）サブアリーナ（小道場）
 - ア サブアリーナを設ける。ただし、建物の構造上トス等の練習は不可とする。
 - イ 入場は選手だけとする。又、CD等での音出しを禁止する。
 - ウ サブアリーナ（小道場）は、演技順に係の指示に従って入場し、譲り合って練習すること。
- （２）ウォーミングアップエリア
 - ア 演技フロア内（大道場）に、ウォーミングアップエリアを設ける。
 - イ 入場は選手だけとする。又、CD等での音出しを禁止する。
 - ウ ウォーミングアップエリアは、演技順に係の指示に従って入場し、譲り合って練習すること。

4 バトンチェックについて

- （１）危害防止およびフロアの保護のため、バトンのボールとティップのチェックを行う。ボールとティップは、柔軟性を保ち、割れ、ヒビ等がなく、本来の機能を十分の果たしている物のみ使用を許可する。（予備も含む）
- （２）演技フロア（大道場）・サブアリーナ（小道場）に持ち込めるバトンはチェックを受けたバトンのみです。
- （３）バトンチェックの時間・場所は6月20日頃ホームページに掲載します。

5 選手席について

- （１）無料の選手席を設けます。指定された席（エリア）のみ使用可能です。なお、選手は一般席に入場出来ません。

演技進行について

- 1 演技進行はセットナンバー順に行います。(演技時間は、プログラムのスケジュールと多少前後することもありますので、演技の進行状況を各自確認し間違いのないようご注意ください)
- 2 選手チェックイン時に不在でも呼び出しは致しません。
- 3 選手、役員・係員以外は演技フロアには入れません。
- 4 バトン以外の物は持ち込めません。(タオル等の使用は、指定場所のみ使用可)
- 5 選手チェックイン時に、実施規定事前チェックがあります。

開会式等

開会式・表彰式・閉会式について

- 1 開会式（7月9日）
選手の整列はありません。
- 2 表彰式（7月10日）
2日目の参加者（コンテストを含む）が全員整列します。館内放送及び係員の指示を受けてご整列下さい。
- 3 閉会式（7月10日）
表彰式に引き続き閉会式を行います。

その他

- 1 武道館の外で大きな音を出さないこと。また、コスチュームのまま外に出ないこと。
- 2 駐車場やロビー、通路等での全ての練習を禁止する。
- 3 荷物や貴重品の管理は各自で行うこと。
- 4 一般観客、招待者の出入り口は2階正面玄関（中央）、選手・登録引率者は1階正面玄関出入り口から入館すること。
- 5 メインアリーナ（大道場）、サブアリーナ（小道場）及びそれに至る経路は土足禁止。
- 6 館内に食堂はありません。
- 7 救護員を配置します。また、万が一に備え健康保険証の持参をお勧めします。
- 8 感染症等の予防処置としてマスクをご持参ください。
- 9 当日の運営に関するご意見等は、団体責任者を通じて大会本部まで申し出ること。
※大会日程及び注意事項の詳細については、二次案内で連絡しますので、参加者への伝達を徹底してください。

1 共通規定

(1) 出場資格及び参加申し込み

ア 参加者は、2016年6月1日までに、会員組織規程に基づき、一般社団法人日本バトン協会に団体加盟している団体に構成員登録していること。また、ペア・アーティスティックペアのメンバーは、全員同一団体の構成員であること。

イ 同一選手の出場はコンテストの部及び選手権の部それぞれ2種目までとする。

ウ 参加に要する各参加者個々の経費は、各参加者の負担とする。

(2) 演技順に関する規定

ア 演技順は、大会実行委員会にて抽選し、種目重複選手を考慮して決定する。

イ 準決勝の演技順は準々決勝の演技順、決勝の演技順は準決勝の演技順とし、種目重複選手を考慮し大会実行委員会にて決定する。

2 演技、審査等に関する規定

《コンテストの部》

(1) 種目

全国共通規定演技ソロトワール〔課題曲レインボーマーチ1分〕

ア 入門 全国共通技能ライセンス6級～5級の内容

イ 初級 全国共通技能ライセンス6級～3級の内容

ウ 中級 全国共通技能ライセンス6級～2級の内容

エ 上級 全国共通技能ライセンス6級～1級の内容

(2) 審査員

審査員は1名とする。

(3) コスチュームに関する規定

コスチュームは自由とする

(4) バトン、その他に関する規定

ア バトンのシャフトは自由とする

イ バトンのシャフトに貼るテープの色等は自由とする

ウ 演技前にバトンの確認を行う。

エ 演技エリアへバトン以外を持ち込んで서는ならない。

オ 視力矯正のためのメガネは可。サングラス・光りものによる顔の装飾、ピアス、アクセサリー類は全て禁止する。

カ 付け爪、マニキュア等、爪の装飾は全て禁止する。

キ スポーツ演技を加味し、適度なメイクアップは良いが、装飾（顔に絵を描いたりすること）は禁止。

ク 演技中にバトンが折れた場合等は、事故とみなし再演技する事が出来る。再演技の判断は、本人・審査委員長・実行委員長が協議し決定をする。再演技を行った場合は、再演技の採点とする。ただし、再演技を行わなかった場合は、演技をした所までの採点とする。

ケ 演技スペース …横7m×縦7mの広さを目安とし、中央に十文字印を明示する。

コ 入退場について… 別冊P2「演技前後の動線（コンテストの部）について」参照

(5) 表彰

それぞれの技術に応じて金・銀・銅の賞状を、一般社団法人日本バトン協会から授与する。

(6) 警告及び出場停止

大会の主旨に反する行為を行った場合、警告又は次回大会出場停止となる場合がある。

《選手権の部》

- ソロトワール
- トゥーバトン
- スリーバトン
- ペア
- ソロストラット
- ダンストワール

(1) 審査員・ペナルティ審査員の人数ならびに役割は次の通りとする。

ア 審査員は、準決勝3名・決勝5名とする。

イ ペナルティ審査員は、1名（ソロストラットのみ2名）とする。

(2) 準々決勝・準決勝・決勝は次の通りとする。

ア エントリー数16人（組）以下の場合は決勝のみとする。

イ エントリー数が17人（組）以上49人（組）以下の場合は準決勝を実施し、8位までが決勝に進出する。

ウ エントリー数が50人（組）以上の場合は準々決勝を実施し、16位までが準決勝に進出する。

(3) 準々決勝、準決勝の順位の決定は次の通りとする。

ア 各審査員の得点から（10点法小数点第2位まで）ペナルティ審査員の減点を差し引いた席次を集計したものとする。

イ 同点者が出た場合は、同位者のみ次の手順に従って順位を決定する。

① 各審査員の得点からペナルティ審査員の減点を差し引き、全審査員の席次合計。

② 各審査員の得点からペナルティ審査員の減点を差し引き、全審査員の点数合計。

※準々決勝、準決勝を棄権した場合は棄権とする。

(4) 決勝の順位の決定は次の通りとする。

ア 審査員の評点（10点法小数点第2位まで）からペナルティ審査員の減点を差し引き、審査員の得点とする。

イ 各審査員の得点より席次を算出し、全審査員の最上位・最下位を除いた席次合計を集計する。

ウ 同点者が出た場合は、同位者のみ次の手順に従って順位を決定する。

① 各審査員の得点からペナルティ審査員の減点を差し引き、全審査員の席次合計。

② 各審査員の得点からペナルティ審査員の減点を差し引き、全審査員の点数を上下カットした合計。

③ 各審査員の得点からペナルティ審査員の減点を差し引き、全審査員の点数合計。

④ 1位から8位までを入賞とする。

※決勝を棄権した場合は決勝の最下位とする。

※1位から8位までを入賞とする。

4 表彰に関する規定

各種目各部門共8位までを入賞とし、賞状を授与する。

5 コスチュームに関する規定

■ソロトワール

■トゥーバトン

■スリーバトン

■ペア

■ソロストラット

コスチュームは自由とする（女子はパンツスタイル不可）

■ダンストワール

コスチュームは自由とする（小道具・帽子着脱は不可）

6 バトン、その他に関する規定

■すべての種目共通

- (1) バトンのシャフトは自由とする。但し、ペアの種目及びチームの種目に関しては、メンバー全員が同じ色を使用すること。
- (2) バトンのシャフトに貼るテープはどのような色を使用しても良い。但し、ペアの種目及びチームの種目に関しては、メンバー全員が同じ色を使用すること。
- (3) 演技前にバトンの確認を行う。
- (4) 演技エリアへバトン以外を持ち込んで서는ならない。
- (5) 演技中の怪我のための包帯は可。
- (6) 視力矯正のためのメガネは可。サングラス・光りものによる顔の装飾、ピアス、アクセサリ類は全て禁止する。
- (7) 付け爪、マニキュア等、爪の装飾は全て禁止する。
- (8) スポーツ演技を加味し、適度なメイクアップは良いが、装飾（顔に絵を描いたりすること）は禁止する。
- (9) 演技中にバトンが折れた場合等は、事故とみなし再演技する事が出来る。再演技の判断は、本人・審査委員長・実行委員長が協議し決定をする。再演技を行った場合は、再演技の採点とする。ただし、再演技を行わなかった場合は、演技をした所までの採点とする。

7 警告及び出場停止

大会の主旨に反する行為を行った場合、警告又は次回大会出場停止となる場合がある。

8 種目別規定

■ ソロトワール

(1) 部門に関する規定

部門は次の通りとする

◆ 女子ソロトワール

- ア U9 (7歳～9歳)
- イ U12 (10歳～12歳)
- ウ U15 (13歳～15歳)
- エ U18 (16歳～18歳)
- オ U22 (19歳～22歳)
- カ 023 (23歳以上)

◆ 男子ソロトワール

- ア 男子Jr12 (7歳～12歳)
- イ 男子Jr17 (13歳～17歳)
- ウ 男子Sr (18歳～22歳)
- エ 男子Ad (23歳以上)

(2) 演技に関する規定

- ア 演技人数 … 1名
- イ 演技に使用するバトン … レギュラーバトン1本
- ウ 演技スペース … 横7m×縦7mの広さを目安とし、中央に十文字印を明示する。
- エ 入退場について…別冊3ページ「演技前後の動線（選手権の部）について」参照
- オ 課題曲（時間） … Solo Special（約1分45秒）
- カ 演技内容 … 1本のバトンを使って技術を競う

<ルーティーン構成>

- ① イン트로ダクション（オープニング サリュートは自由）
- ② 3モード
 - ◇ エアリアル [バーティカル・フラット (ホリゾンタル)]
 - ◇ ロール [バーティカル・フラット (ホリゾンタル)]
 - ◇ コンタクト マテリアル [バーティカル・フラット (ホリゾンタル)]
- ③ エンディング（エンディング サリュートは自由）
 - 以上の組み合わせでルーティーンを構成する
 - ※フロアワークは組み入れない方が望ましい

(3) 審査内容

ア 内容

- ① バラエティー
 - ◇ 3モードのバランス
 - ◇ 両手使い
 - ◇ ルーティーン構成
- ② ディフィカルティー
 - ◇ バトンとボディの困難度
 - ◇ リース、レセプション、リードイン、フォロースルー、コネクション

イ 実施

- ① テクニック
 - ◇ バトンの正確さ

- ◇ ボディワークの正確さ
- ◇ バトンの熟練度・質
- ◇ ボディワークの熟練度質
- ◇ リズム・タイミングのコントロール
- ② パフォーマンス&エクспRESSION
 - ◇ プロジェクション（意気込み）
 - ◇ ダイナミックさ
 - ◇ 持続性（忍耐力とスタミナ）
 - ◇ 自信のある演技
 - ◇ リカバリー能力／観客や審査員に対しての一体感
- ③ スピード
 - ◇ バトンの回転だけでなく、全体（3モード）を通しての一貫したスピード
 - ◇ スピードコントロール

ウ ペナルティ

- ① ドロップ 1本につき0.1点減点
- ② 転倒部分転倒1回につき0.1点減点 全転倒1回につき0.2点減点
- ③ アンダータイム 出遅れ、途中の振り忘れ、曲余り合計32拍を超えた場合0.2点減点
（サリュートやエンディングポーズ、ドロップミスによるものは含まれない）

■ トゥーバトン

（1）部門に関する規定

部門は次の通りとする

◆ 女子トゥーバトン

- ア U12（7歳～12歳）
- イ U15（13歳～15歳）
- ウ U18（16歳～18歳）
- エ 019（19歳以上）

◆ 男子トゥーバトン

- ア 男子Jr12（7歳～12歳）
- イ 男子Jr17（13歳～17歳）
- ウ 男子Sr（18歳～22歳）
- エ 男子Ad（23歳以上）

（2）演技に関する規定

- ア 演技人数 ……1名
- イ 演技に使用するバトン ……レギュラーバトン2本
- ウ 演技スペース ……横7m×縦7mの広さを目安とし、中央に十文字印を明示する。
- エ 入退場について…別冊3ページ「演技前後の動線（選手権の部）について」参照
- オ 課題曲（時間） ……Two Baton・Three Baton & P a i r S p e c i a l（約1分30秒）
- カ 演技内容 ……2本のバトンを使って技術を競うルーティーン内容
 - ① コンタクト マテリアル（2本のバトンを身体の近くで行うトワール）
 - ② ロール（両手を使ったロール。又は空中で1本のバトンが高く、もう1本がロールの組み合わせ）
 - ③ ハイ ロー（空中で1本のバトンが高く、もう1本が低いエアーリアル。又は1本が高くもう1本はコンタクト マテリアル等の組み合わせ）
 - ④ ダブル トス トリック（2本同時に空中ヘトス）
 - ⑤ ジャグル（片手で連続的なリリースとキャッチ。例：片手で2本のバトンを交互にトス）
 - ⑥ シャワー（両手で連続的なリリースとキャッチ。例：1本のバトンをトスしている間にもう1本をパスして最初のバトンをキャッチ）
 - ⑦ コンプレックス トリック（複雑なトリック・リリース・レセプション）

(3) 審査内容

ア 内容

① バラエティー

- ◇ コンタクト マテリアル
- ◇ ロール
- ◇ ハイ ロー
- ◇ ダブル トス トリック
- ◇ ジャグル
- ◇ シャワー
- ◇ コンプレックス トリック

② ディフィカルティー

- ◇ バトンとボディの困難度
- ◇ リリース、レセプション、リードイン、フォロースルー、コネクション

イ 実施

① テクニック

- ◇ バトンの正確さ
- ◇ ボディワークの正確さ
- ◇ トゥーバトンの熟練度・質
- ◇ ボディワークの熟練度・質
- ◇ リズム・タイミングのコントロール

② パフォーマンス&エクスプレッション

- ◇ プロジェクション (意気込み)
- ◇ ダイナミックさ
- ◇ 持続性 (忍耐力とスタミナ)
- ◇ 自信のある演技
- ◇ リカバリー能力
- ◇ 観客や審査員に対しての一体感

ウ スピード

- ① バトンの回転だけでなく全体を通しての一貫したスピード
- ② スピードコントロール

エ ペナルティ

- ① ドロップ 1本につき0.1点減点
- ② 転倒 部分転倒1回につき0.1点減点 全転倒1回につき0.2点減点
- ③ アンダータイム 出遅れ、途中の振り忘れ、曲余り合計32拍を超えた場合0.2点減点
(サリュートやエンディングポーズ、ドロップミスによるものは含まれない)

■スリーバトン

(1) 部門に関する規定

部門は次の通りとする

◆女子スリーバトン

- ア U12 (7歳～12歳)
- イ U15 (13歳～15歳)
- ウ U18 (16歳～18歳)
- エ 019 (19歳以上)

◆男子スリーバトン

部門は次の通りとする

- ア 男子Jr12（7歳～12歳）
- イ 男子Jr17（13歳～17歳）
- ウ 男子Sr（18歳～22歳）
- エ 男子Ad（23歳以上）

（2）演技に関する規定

- ア 演技人数 ……1名
- イ 演技に使用するバトン ……レギュラーバトン3本
- ウ 演技スペース ……横7m×縦7mの広さを目安とし、中央に十文字印を明示する。
- エ 入退場について ……別冊3ページ「演技前後の動線（選手権の部）について」参照
- オ 課題曲（時間） ……Two Baton・Three Baton & P a i r S p e c i a l （約1分30秒）
- カ 演技内容 ……3本のバトンを使って技術を競う
 - カスケード（左右交互に行われるリリースとキャッチ）
 - シャワー（両手による継続的なリリースとキャッチ）
 - ジャグル（片手による継続的なリリースとキャッチ）
 - ダブルトス —シングルトス
（2本同時に空中へトスし、それとコーディネーションして残りもう1本を続いてトスする）
 - ハイロー（高いエーリアルの下でトゥーバトンの技を行うこと）
 - スタックス（高いエーリアルの下に低いエーリアルを投げあげ、その下でコンタクトマテリアルを行う）
 - トリプルトス（3本のバトンが同時に空中にある状態のこと）

（3）審査内容

ア 内容

- ① バラエティー
 - ◇ シークエンスの広がりと変化、それらのミックス
 - ◇ 両手使い
 - ◇ コンタクト マテリア ル、ロール
 - ◇ パターン、プレーン、ディレクションの扱い方
- ② ディフィカルティー
 - ◇ 密度
 - ◇ リリース、レセプションの困難度
 - ◇ リスク
 - ◇ エーリアル

イ 実施

- ① テクニック
 - ◇ バトンの精密さ、安定度
 - ◇ コレクション
 - ◇ リズム、タイミングのコントロール
 - ◇ バトンとボディのブレンド及びスピード
 - ◇ フォロースルー、パターンチェンジ、レボリューションの正確さ
- ② パフォーマンス&エクスプレッション
 - ◇ エンターテインメント性
 - ◇ 持続力&スタミナ
 - ◇ 自信のある演技
 - ◇ リカバリー能力

③ デマンド

- ◇ 継続性
- ◇ 同時責任性
- ◇ ビジュアルトラッキング
- ◇ 空間構成能力

ウ ペナルティ

- ① ドロップ 1本につき0.1点減点
- ② 転倒 部分転倒 1回につき0.1点減点 全転倒1回につき0.2点減点
- ③ アンダータイム 出遅れ、途中の振り忘れ、曲余り合計32拍を超えた場合0.2点減点
(サリュートやエンディングポーズ、ドロップミスによるものは含まれない)

■ペア

(1) 部門に関する規定

部門は次の通りとする

- ア U12 (7歳～12歳)
- イ U15 (13歳～15歳)
- ウ U18 (16歳～18歳)
- エ 019 (19歳以上)

※ 性別区分は行わない。二人の内、年齢が上の人の部門とする。

(2) 演技に関する規定

- ア 演技人数 …2名
- イ 演技に使用するバトン …レギュラーバトン2本(各1本)
- ウ 演技スペース …横8m×縦8mの広さを目安とし、中央に十文字印を明示する。
- エ 入退場について …別冊3ページ「演技前後の動線(選手権の部)について」参照
- オ 課題曲(時間) …Two Baton・Three Baton & Pair Special (約1分30秒)
- カ 演技内容 …二人で、バトンとボディワークの調和した技術を競うルーティーン構成はソロトワールと同様であるが、エクステンジなどペア要素を重視したもので構成する

※ 二人がソロトワールの同じことを行うだけではなく、ペアの特色を生かした演技をすることに価値がある

(3) 審査内容

ア 内容

- ① バラエティー
 - ◇ 3モードのバランス
 - ◇ エクステンジ
 - ◇ ペアワーク
 - ◇ フロアパターン
- ② ディフィカルティー
 - ◇ バトンとボディワークの困難度
 - ◇ シンクロナイズーションの困難度
 - ◇ コーディネーションの困難度

イ 実施

- ① テクニック
 - ◇ バトンの正確さ
 - ◇ ボディワークの正確さ
 - ◇ バトンの熟練度・質
 - ◇ ボディワークの熟練度・質
 - ◇ ペアのコントロール
 - ◇ リズム・タイミングのコントロール

② パフォーマンス&エクспRESSION

- ◇ ペアとしての責任
- ◇ プロジェクション（意気込み）
- ◇ 持続性（忍耐力とスタミナ）
- ◇ 自信のある演技
- ◇ リカバリー能力

③ スピード

- ◇ バトンの回転だけでなく一貫したスピード
- ◇ 二人の統一したスピード

ウ ペナルティ

- ① ドロップ 1本につき0.1点減点
- ② 転倒 部分転倒1回につき0.1点減点 全転倒1回につき0.2点減点
- ③ アンダータイム 出遅れ、途中の振り忘れ、曲余り合計32拍を超えた場合0.2点減点
(サリュートやエンディングポーズ、ドロップミスによるものは含まれない)

■ ソロストラット

(1) 部門に関する規定

部門は次の通りとする

- ア U12 (7歳～12歳)
- イ U15 (13歳～15歳)
- ウ U18 (16歳～18歳)
- エ 019 (19歳以上)

※ 性別区分は行わない。

(2) 演技に関する規定

- ア 演技人数 …… 1名
- イ 演技に使用するバトン …… レギュラーバトン1本
- ウ 演技スペース …… 横15m×縦10mの広さを目安とし、中央に十文字印を明示する。
- エ 入退場について …… 別冊5ページ「演技前後の動線について」参照
- オ 課題曲（時間） …… 栄光へのマーチ（約1分30秒）
- カ 演技内容 …… マーチのリズムの中で、優雅で気品のあるボディワークとバトンの技術を競うルーティーン構成
 - イントロダクション 8拍
 - ミリタリーストラット 32拍
 - プレゼンテーション 32拍
 - フォワードモーション 100拍
 - エンディング 12拍

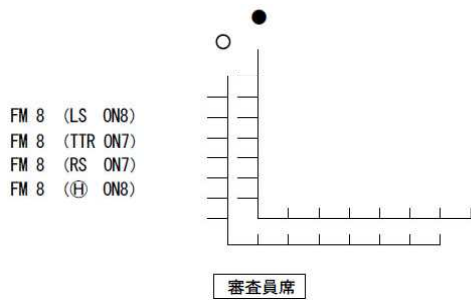
【構成内容】

ア イントロダクション

振り付けは自由だが、ミリタリーストラットに導入しやすい動作（アテンション・サリュート等）

イ ミリタリーストラット（ダブルL字ストラット）

- 足の動き …… 審査員に向かってベーシックストラット（腿は、床と平行になるで8拍前向へ左足より7拍前進、7歩目（左足）を踏み出すと同時に左足を軸にして右廻りで180度方向変換、右足より8拍前進、8歩目（左足）を踏み出すと同時に左足を軸にして右に90度方向変換、審査員を後ろにし、8拍前進、9歩目で右足を左足に揃える



- 右手はビートタイム（拍子をとる）〔指揮杖でバンドを指揮するような動作〕
- 左手は、指を揃えて左腰におく ・ 足は、ベーシックストラット
- 背中とはまっすぐ正面（進行方向）を向く顔は引き締める

ウ プレゼンテーション

自由に表現できるセクション

エ フォワードモーション

ビートに合わせてパレードを先導するように前進しながらバトンと優雅なボディワークを組み合わせ、フロアをデザインするセクション

オ エンディング

全ての終わりを示し、自由に表現できるセクション。

(3) 審査内容

ア 内容

- ① イントロダクション・ミリタリー ストラット・ビートタイム
 - ◇ ミリタリースタイル
 - ◇ ベーシックストラット
- ② プレゼンテーション・エンディング ・バトンとボディのバラエティー
 - ◇ ディフィカルティー
 - ◇ オリジナリティー
- ③ フォワードモーション・バトンとボディの組み合わせのバラエティー、ディフィカルティー
 - ◇ バトンとボディの組み合わせのオリジナリティー
 - ◇ フロアデザイン

イ 実施

- ① テクニック
 - ◇ バトンとボディの調和と正確さ
 - ◇ シャープさ、柔軟性、優雅さ
 - ◇ リズムのとり方
 - ◇ ボディコントロール
- ② パフォーマンス&エクспRESSION
 - ◇ パレードを先導する演技
 - ◇ アピール性、自信
 - ◇ リカバリー能力
- ③ アウトオブステップ
 - ◇ フォワードモーションにおける足踏みの誤りを指し、奇数は左足、偶数は右足でステップする。両足は1拍までとする。

例：ダブルイリュージョンはステップを踏み変える事

ウ ペナルティ

- ① ドロップ 1本につき0.1点減点
 - 転倒 部分転倒1回につき0.1点減点 全転倒1回につき0.2点減点
- ② アンダータイム 出遅れ、途中の振り忘れ、曲余り合計32拍を超えた場合0.2点減点

(サリュートやエンディングポーズ、ドロップミスによるものは含まれない)

③ アウトオブステップ 1～4 拍 0.1 点減点、5 拍以上は 4 拍毎に減点が加算される。

■ ダンストワール

(1) 部門に関する規定

部門は次の通りとする

ア U12 (7歳～12歳)

イ U15 (13歳～15歳)

ウ U18 (16歳～18歳)

エ 019 (19歳以上)

※ 性別区分は行わない。二人の内、年齢が上の人を部門とする。

(2) 演技に関する規定

ア 演技人数 … 1 名

イ 演技に使用するバトン … レギュラーバトン 1 本

ウ 演技スペース … 横 1.5 m × 縦 1.0 m の広さを目安とし、中央に十字印を明示する。

エ 入退場について … 別冊 3 ページ「演技前後の動線（選手権の部）について」参照

オ 課題曲（時間） … 輝きの時（約 1 分 34 秒）

カ 演技内容 … バトンとダンスワークのブレンドが、音楽に調和した技術を競うルーティーン構成

※ 音楽のテンポ、リズム、フレーズに合わせ、曲想表現ができるよう、様々なダンスワークとバトンをブレンドし構成する

(3) 審査内容

ア 内容

① コレオグラフィー

◇ バトンとダンスワークの組み合わせ

◇ 音楽に合った構成・振り付け

◇ チェンジオブペース

◇ フロアの使い方・ステージング

② バトンとダンスのブレンド

◇ バトンのバラエティー・ディフィカルティー

◇ ダンスワークのバラエティー・ディフィカルティー

◇ バトンとダンスのコンビネーション

◇ シリーズのディフィカルティー

◇ オリジナリティー

イ 実施

① テクニック

◇ バトン・ボディの正確さ・明確さ

◇ 動きの熟練度・質

◇ リズム・タイミング

◇ 音楽との関わり・調和

◇ ボディコントロール

② パフォーマンス&エクスペリション

◇ ショーマンシップ・エンターテインメント性

◇ 自信

ウ ペナルティ

① ドロップ 1 本につき 0.1 点減点

② 転倒 部分転倒 1 回につき 0.1 点減点 全転倒 1 回につき 0.2 点減点

③ アンダータイム 出遅れ、途中の振り忘れ、曲余り合計 32 拍を超えた場合 0.2 点減点
(サリュートやエンディングポーズ、ドロップミスによるものは含まれない)

1 0 「災害発生等における開催中止、延期について」

選手と観客の皆様の安全確保のため、災害が発生または予見される場合及び交通機関が止まり、参加者が会場に到着できないと判断した場合並びに感染症等の流行により健康に大きな被害が及ぶ恐れがある場合等、実行委員会において大会開催の可否を検討し、中止または延期する場合があります。中止または延期となった場合の連絡は随時当支部ホームページにてお知らせします。

なお、大会前日、大会当日に中止となった場合、参加団体の団体連絡責任者を通じて連絡します。

第42回全日本バトントワリング選手権東北支部大会

緊急対策マニュアル

1 目的

大会における会場管理の安全を期し、以て不測の事態による人的災害等を最小限に軽減することを目的とする。

2 予防体制

- (1) 各担当者は、それぞれのポジション内の整理について特に注意し、不必要な物は置かないようにする。
- (2) 開場1時間前に役員・委員及び係員で、消火器所在等の状況を確認するとともに、不審物危険物の有無の点検を徹底的に行う。多少でも不審物・危険物等、疑わしきあった場合には、直接触れることなく、大会本部に連絡すること。
- (3) 大会本部にて、不審物・危険物等、疑わしき物の現状確認後、秋田県立武道館職員に連絡し、指示をうける。
- (4) 大会当日の天候、気温の状態により、体調不良者の発生を防ぐために適切な冷房の使用を大会本部で検討、決定する。
- (5) 感染症予防対策として出場団体に下記の項目について周知徹底する。
 - ア 出演団体については手洗い・うがいなどの感染防止対策を行っていただく。
 - イ 発熱及び下痢等の症状がある場合は早期に診療機関の受診を促すとともに出場を自粛していただく。
 - ウ 感染防止のため、必要に応じてマスクを持参していただく。
- ⑥ 感染症予防対策として催事責任者は下記の項目について準備する。
 - ア 大会当日の運営に携わる委員、係員、補助員、審査員等全員にマスクを準備する。
 - イ 秋田県立武道館の入場口、トイレ及び各運営に使用する部屋に必要な応じ消毒液を配置。

3. 緊急事態発生の場合

(1) 火災発生の場合

火災を発見した場合、または火災警報発報時は下表のと通りの対応を行う。

状 況	対 応
火災発見時	秋田県立武道館職員に連絡する。現場確認を行い、対応をする。
火災警報発報時 (非常ベル鳴動)	秋田県立武道館職員が現場確認を行い、状況報告のアナウンスを行う。 大会本部は秋田県立武道館職員より状況報告を受ける。
誤報時	秋田県立武道館で状況報告のアナウンスを行う。 大会本部は秋田県立武道館職員より原因の報告を受ける。
火災発生時	秋田県立武道館職員で現場確認を行い、非常放送により全館アナウンスを行う。また、大会本部に避難誘導の報告をし、秋田県立武道館職員が各階の避難誘導を行う。大会各部係員は協力して避難誘導にあたる。 鎮火後、被害状況を調査し、大会本部は以後の催事の継続・中止について秋田県立武道館職員と協議・判断を行う。

(2) 地震発生の場合

地震発生時は下表のと通りの対応を行う。

但し、被害状況・観客の動揺によっては、その状況に応じた対応を行う。

震度階	対 応
震度 1 ～ 2	秋田県立武道館職員が館内の状況を確認し、大会本部は状況の報告を受ける。 状況に応じて催事の一時中断・館内へのアナウンスを行う。
震度 3 ～ 4	催事を一時中断し、館内へアナウンスを行う。 秋田県立武道館職員が館内の状況を確認し、大会本部は報告を受ける。 大会本部は以後の催事の継続・中止・観客の避難誘導について秋田県立武道館職員と協議・判断を行う。
震度 5 以上	非常放送により全館アナウンスを行う。 秋田県立武道館職員が大会本部に避難誘導の報告をし、各階の避難誘導を行います。大会各部係員は協力して避難誘導にあたる。 秋田県立武道館職員が施設破損状況や被害状況を調査し、催事責任者（大会本部）は報告を受ける。 大会本部は以後の催事の継続・中止について秋田県立武道館職員と協議・判断を行う。

※大会本部は、事態発生状況の状況を逐次実行委員長に報告し、必要な指示を受ける。

(3) けが人・病人等発生の場合

- ア 参加団体内で対応ができない状態のけが人・病人が発生した場合には、大会本部に通報する。
大会本部は秋田県立武道館内に設置する（P33「館内図」参照）。大会本部は状態の通報を受け、必要に応じて救護係員を現場へ向かわせる。一般来場者の場合も同様とする。
救護係員は医療関係の知識があるものがこれにあたり、大会本部の管理下で原則としてアリーナ内に待機するものとする。

- イ 救護所は、主催者控え室に設置する。
軽傷のケガ等の対処のために大会本部内に救急箱を準備する。

- ウ 必要に応じ、大会本部が秋田県立武道館職員に救急車の出動を要請する。

(4) 刑法抵触等の行為が発生の場合

- ア 発見した時点で、至急大会本部に一報して、本部が急行する。事実確認の後、秋田県立武道館職員と協議の上、関係機関と連絡を取る。
- イ 刑法抵触の行為が予想されると思われる人物・物品を発見した場合も、上記と同様の処置を取る。
但し、緊急を要すると判断される場合は、各担当の判断において、大会本部を通さずに予防措置を取ることができる。

(5) 演技に正常な審査を妨げる事態が発生した場合

- ア 地震や火災が発生した場合
- イ 客席での騒音
以上の場合は発生した時点でその近くの係員が急行し、秋田県立武道館職員に連絡するとともに事態が拡大しないように適切に対処する。主催者としてまず人命を第一に踏まえた上で次の点に留意する。
- ウ 演技中断の判断について
審査委員長が常に審査席にいるようにし、演技を中断するかどうかを即座に判断する。
- エ 状況により演技中断が適当と判断した場合

審査委員長は演出部長に速やかに連絡し、演出部長は進行係に中断のアナウンスを入れる指示をする。

オ 再演技について

演技を中断した団体については、原則として当該部門の最後に演技・演奏を行なう。

カ 総責任者

総責任者は実行委員長である。全ての情報は遅滞なく実行委員長へ報告する。

4 緊急事態発生時の避難誘導について

秋田県立武道館からの避難は、別冊4ページ「秋田県立武道館避難経路図」参照